

水先人の現状と求められる人物像

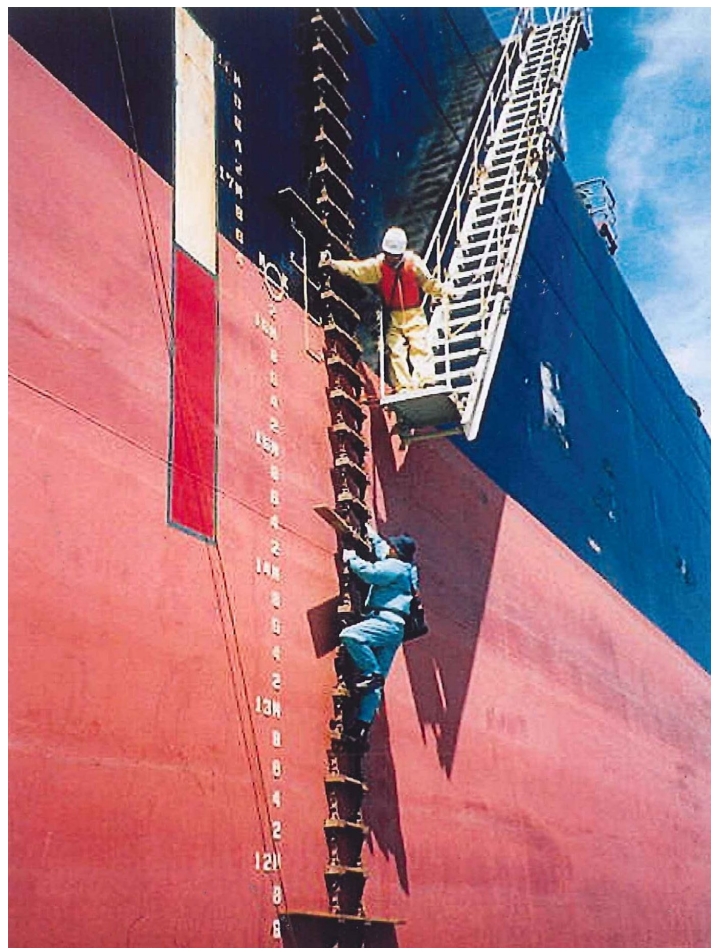
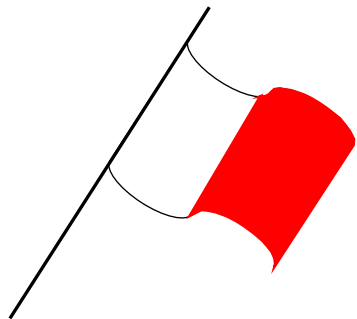


日本水先人会連合会
専務理事 阪本 敏章

日本水先人会連合会

JAPAN FEDERATION OF PILOTS' ASSOCIATIONS





日本水先人会連合会

JAPAN FEDERATION OF PILOTS' ASSOCIATIONS



1. 水先人（Pilot）とは

○水先法 第二条

一定の水先区について水先人の免許を受けた者

- 水先区の海域、気象・海象、規則等に精通
- 操船のエキスパート
- 船長のアドバイザー
- 応召義務（第四十条）



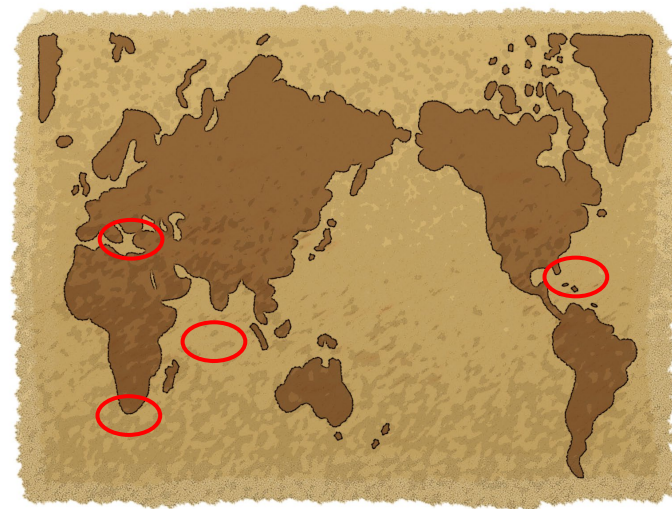
日本水先人会連合会

JAPAN FEDERATION OF PILOTS' ASSOCIATIONS



2. 水先の歴史

- B. C. 10世紀、古代フェニキア（現レバノン付近）に水先人が存在「ヘブライの大予言第27章」
- B. C. 5世紀？弥生時代？
椎根津彦が豊後水道～瀬戸内海を水先「日本書紀」
- 中世期の大航海時代
インド洋、喜望峰、アメリカ大陸発見時にも水先人
- 1600年 オランダ船が豊後に漂着
ウィリアムアダマス（三浦按針）が水先人
- 日本の水先制度は明治9年の西洋型船水先免状規則の制定が始まり

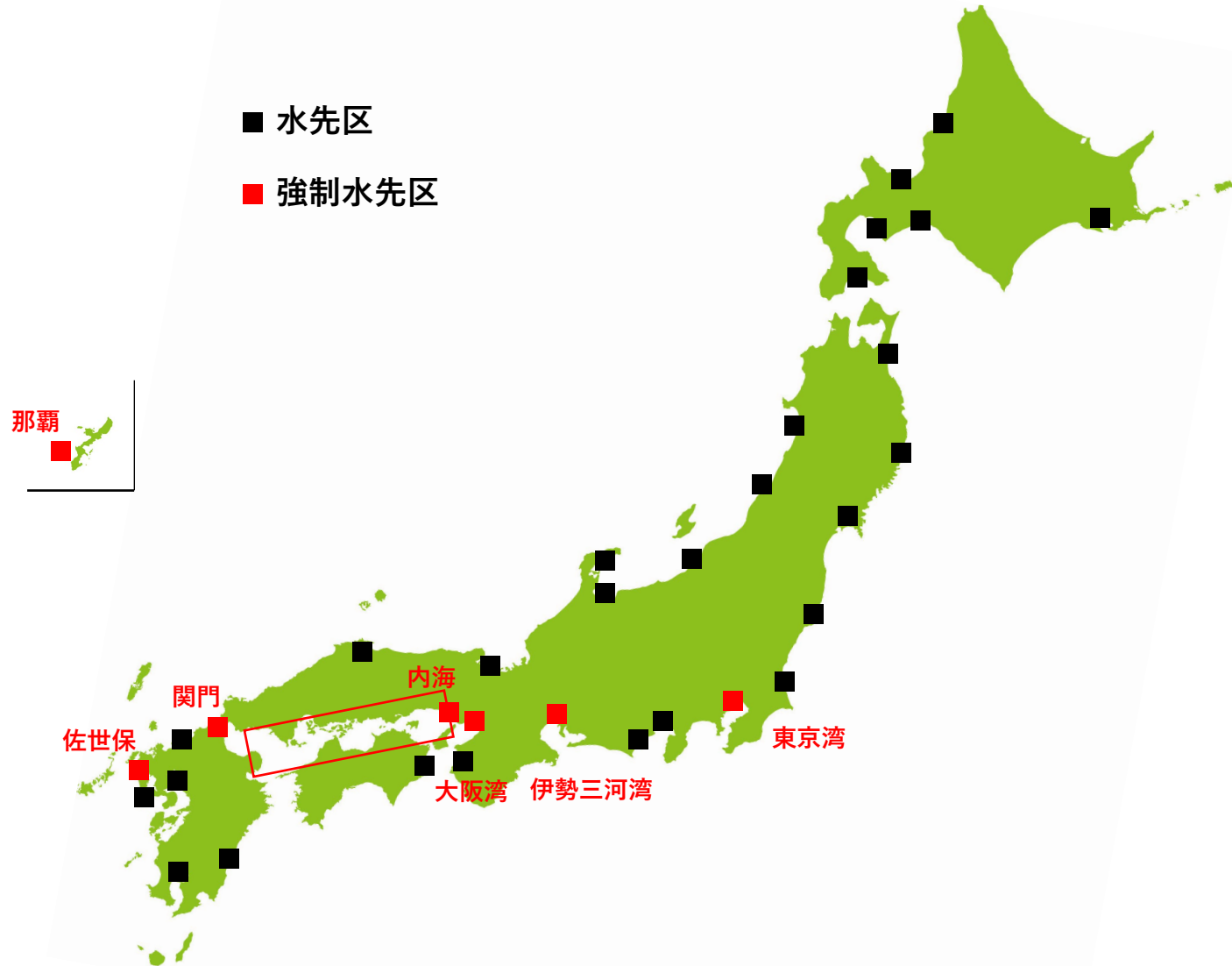


日本水先人会連合会

JAPAN FEDERATION OF PILOTS' ASSOCIATIONS



3. 日本全国の水先区 (34水先区)

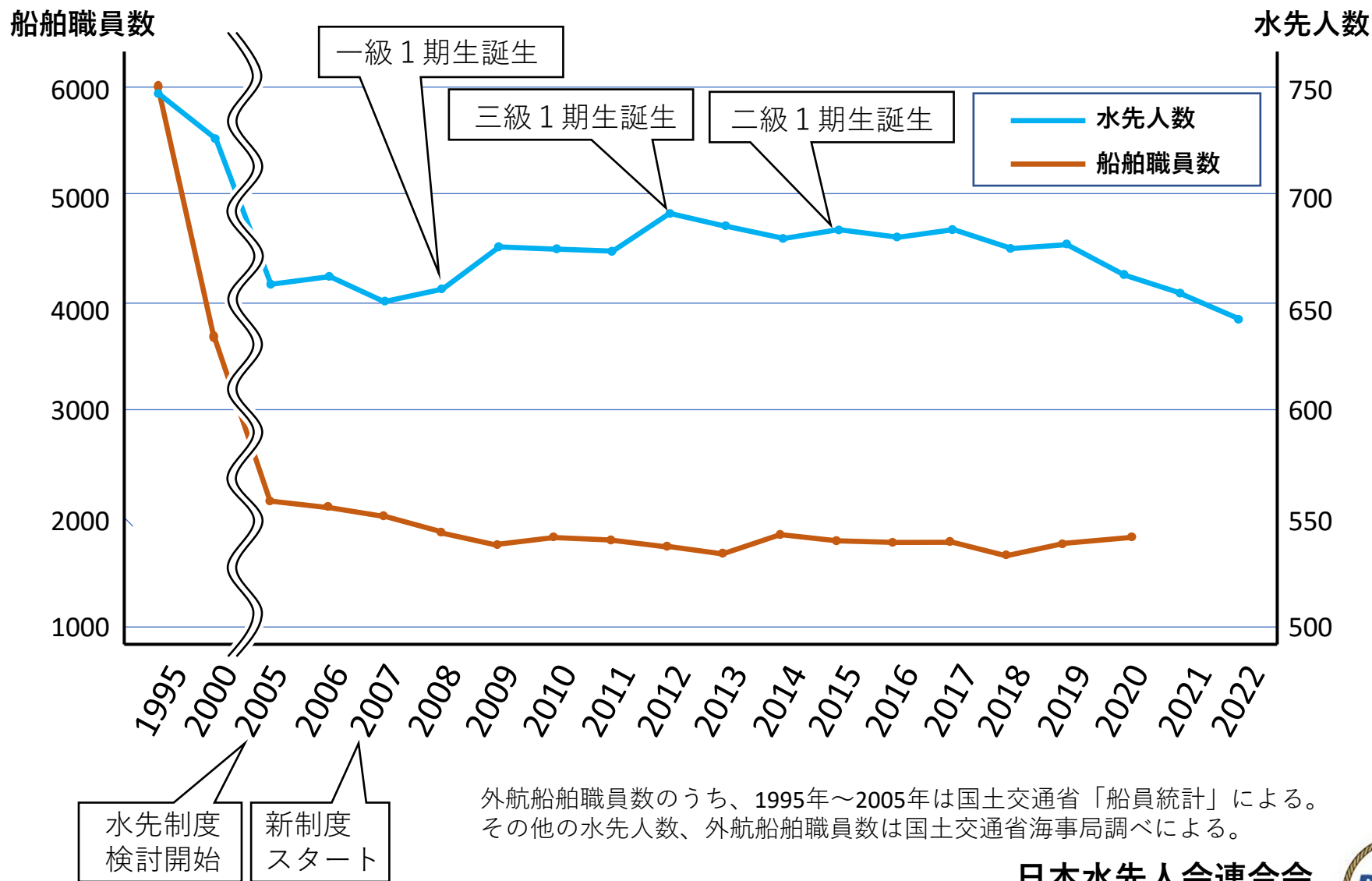


日本水先人会連合会

JAPAN FEDERATION OF PILOTS' ASSOCIATIONS



4. 外航日本人船舶職員と水先人の人数推移



日本水先人会連合会

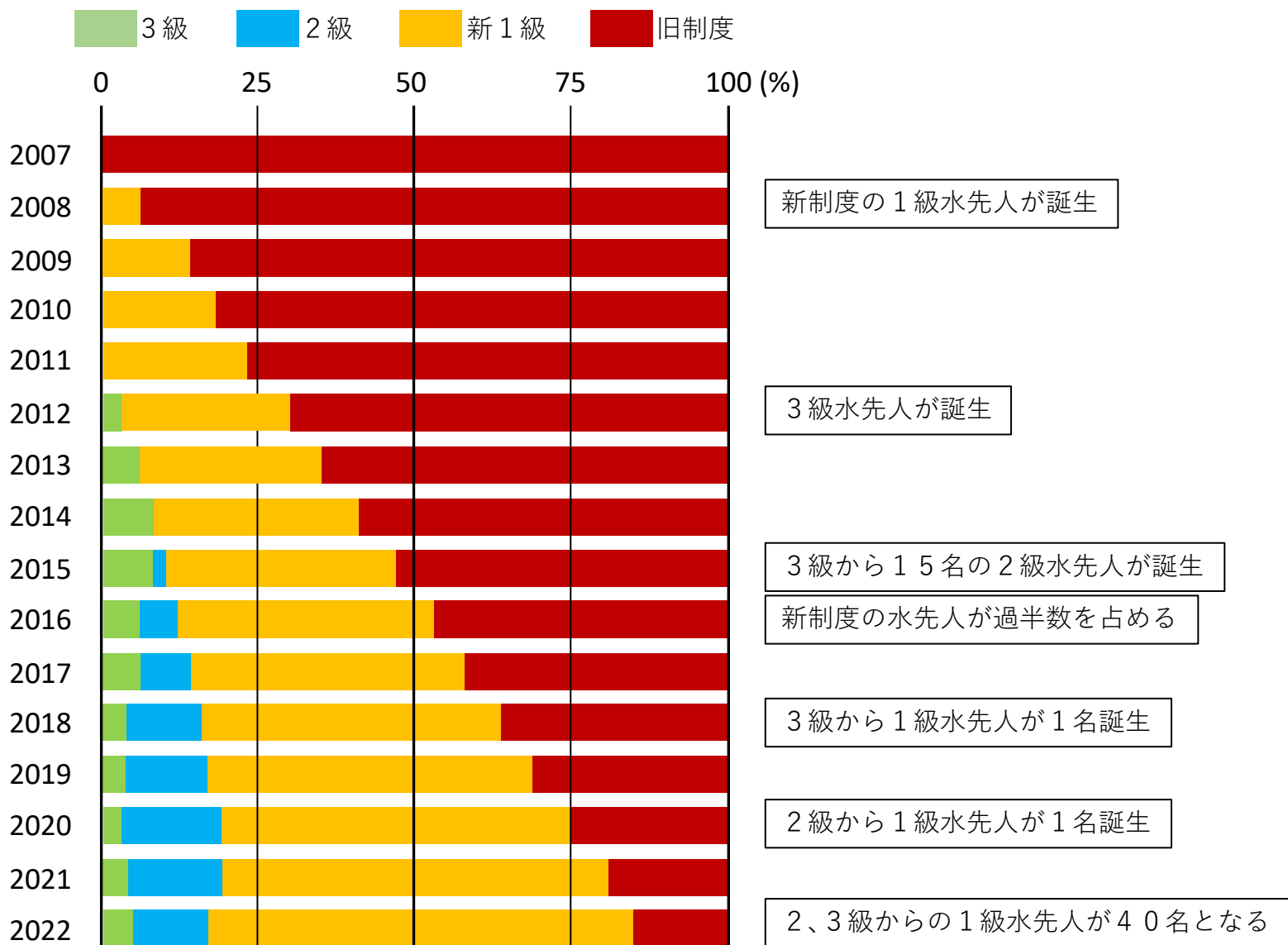
JAPAN FEDERATION OF PILOTS' ASSOCIATIONS



5. 等級別免許制度

免許			 一級水先人	 二級水先人	 三級水先人
行使範囲			制限なし 	上限6万総トンまでの船舶、但し危険物積載船は上限2万総トンまで 	上限3万総トンまでの船舶、但し危険物積載船は不可 
乗船履歴	船舶	総トン数	3,000トン以上	3,000トン以上	1,000トン以上
		航行区域	沿海以遠	沿海以遠	沿海以遠
	職務	職名	船長	一等航海士以上	航海士以上又は実習生
		期間	2年以上	2年以上	1年以上
海技士の免許			三級海技士（航海）又はこれより上位の資格の免許		

6. 等級別水先人の割合



国土交通省海事局調べによる水先免許数から算出

日本水先人会連合会

JAPAN FEDERATION OF PILOTS' ASSOCIATIONS



7. 水先人に求められる人物像

1. 水先はサービス業

品位、品格を持って「安全サービス」を提供

➤ 協調性、コミュニケーション能力、信頼関係の構築

2. 水先は極めて公共性の高い職業

応召義務が課せられている水先人は日本経済（物流）を支える要

➤ 使命感、責任感

3. 水先人には不断の自己研鑽が必要 謙虚であるべし

無事故で年間300隻を嚮導、理論を持った職人

➤ 探究心旺盛、精神力



日本水先人会連合会

JAPAN FEDERATION OF PILOTS' ASSOCIATIONS



ご清聴ありがとうございました



日本水先人会連合会

JAPAN FEDERATION OF PILOTS' ASSOCIATIONS

